

令和元年度第1回村上市介護保険運営協議会 会議録

1. 開催日時：令和元年10月23日（水）午後1時25分～午後2時35分

2. 開催場所：村上市役所 5階 第5会議室

3. 出席者：（敬称略）

【出席委員】野澤十治、中山正美、大滝春子、野沢 悟、鈴木圭子、秋山久子、山下ゆかり、戸澤和夫、石井雄士、田巻清美、斎藤和憲、土岐裕也、西村 治、富樫勇巳、遠山たつ 15名

<欠席委員：阿部正一、高原 繁、青山育美、佐藤充博、鳴瀬 豊 5名>

【事務局】介護高齢課 小田課長、高橋課長補佐、近藤係長、渋谷副参事、田中センター長、田嶋係長、五十嵐係長、保健医療課 信田課長 8名

4. 会議次第

1. 開 会 1時25分

2. あいさつ 西村会長

3. 議 題

(1) 介護保険の実施状況について・・・資料1

（事務局説明）認定者数は微増ながら増えてきている。その中で、重度者が減少傾向にある一方で、要支援者が増えてきている。

介護給付費は、要支援者に対する総合事業分を加えると70億円を超えている。

【質問・意見】

○委 員：30年度のサービス利用に「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」があるが、村上市にはないサービスではないか。

事務局：市外に住所登録がある住所地特例者の方が一時的に利用されたもの。

○委 員：要介護度で重度者が減少傾向とのことだが、県内でも同様の傾向か。

事務局：県内比較は行っていない。

(2) 地域包括支援センターの活動状況について・・・資料2

（事務局説明）要支援者が増え、各種事業で増加傾向にある。

介護認定申請の理由で、1位は認知症で変わらないが、2位が脳血管疾患となっ
てきている。特に40歳以上の2号被保険者の若年者で増えている。

【質問・意見】

○委 員：高齢者虐待の相談件数が増えているが、どのような対応をしているのか。

事務局：虐待かどうか状況把握に努め、民生委員や関係職員等と訪問などを重ね対応している。

(3) 地域密着型サービス事業所の運営状況について・・・資料3

(事務局説明) 全体で27事業所が運営されている。今年度には、グループホームの2事業所がそれぞれ1ユニット(9名)の増床となる。また、デイサービスで1事業所が従業員の休職により昨年12月から休止している。

【質問・意見】

○委員：休止している事業所もあり、介護職の確保はされているのか。

事務局：基準は満たしているが、人材の確保に苦慮している話は聞いている。市としても補助金を出して人材確保を支援している。

(4) 令和2年度村上市地域密着型サービス等事業所事前協議事業者の公募状況について

・・・資料4

(事務局説明) 9月10日から10月21日まで公募したが、応募事業者がなかった。今年度は再公募せず、次期計画を含め検討していくこととする。

【質問・意見】 特になし。

(5) 高齢者福祉サービスの実施状況について・・・資料5、資料5-1

(事務局説明) 各種サービスの内容、実績について報告。

【質問・意見】

○委員：住宅整備費助成事業は、介護保険給付での住宅改修も同時に利用できるのか。

事務局：同一箇所を行うことはできないが、実施箇所を分けて行うことは可能。

○委員：日常生活用具給付等事業や寝具乾燥消毒サービスで、村上地区以外の利用が少ないのはなぜか。

事務局：全市で利用可能であるが、実績がないもの。なお一層周知に努めたい。

(6) 第8期介護保険事業計画の作成準備について・・・資料6

(事務局説明) 令和3年度から第8期計画になる。今後、国からの指針を待って7期計画策定時と同様に「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と「在宅介護支援調査」を行っていく予定。来年秋にはサービス見込み量と保険料の仮算定をしていくことになる。

【質問・意見】 特になし。

4. その他

(1) 令和元年度介護保険運営協議会の開催予定について・・・資料7

(事務局説明) 第2回の運営協議会と地域包括支援センター運営会議を来年3月下旬に予定。地域密着型サービス運営委員会は、応募がなかったため第2回は行わない。

【質問・意見】 特になし。

閉会挨拶 中山副会長

5. 閉 会 2時35分